

デジタル技術を活用した災害対策について

1 取組事例

防災行政無線や防災メール等の情報発信ツールや、気象観測システム等の災害情報集取集ツールについては、東京23区すべてが導入している。

防災アプリについては、導入の有無が分かれ、東京23区中15区が独自で導入している。主な機能としては、GPS機能、防災マップ（オンライン・オフライン）、避難所開設状況（混雑状況）、避難所までの経路案内、プッシュ通知（災害情報発信）、ハザードマップ、防災無線放送内容確認等であるが、全て備わったアプリはなく、それぞれ搭載している機能が異なる。なお、各区災害情報システムのサブシステムとして、防災アプリを導入しているケースが多い。

このほかに、VR、ARを用いて、防災訓練等を疑似体験できる専用サイトの公開や、自宅で防災について学べるオンラインセミナーを開催するなど、デジタルコンテンツが活用されており、板橋区では、動画コンテンツ「板橋区防災プラスチャンネル」を配信している。

（参考）

品川区区民避難所体験サイト（品川区）

アバターde防災訓練（足立区）

二子玉川オンライン防災塾セミナー（世田谷区）

2 今後の方向性

情報発信については、多重化を図り、区民に情報が行き渡るよう思考を凝らしているところであるが、時代とともに、デジタル技術が発達し、情報を受ける側の需要も変わっていくため、今後もより効率的で、漏れのない情報発信の方法を検討していく。

なお、災害時の避難所開設状況及び混雑状況については、システムにて集計・管理し、区HPを更新して情報公開する想定だが、IT推進課で導入に向けた実証実験実施を予定しているGPS位置情報分析ツール（KDDI Location Analyzer）等を活用し、リアルタイムで情報発信できないか可能性を探り、DX推進に努めていく。

また、国や都が進めている被災者支援等に関わる自治体間の円滑な応援・受援を可能とするシステムの開発について、区としてもこれに対応するため、システムの見直し、連携を図っていく。

さらに、防災関連のアプリについては、現状の板橋区防災マップアプリ及び協定により提供されているヤフー防災速報アプリのそれぞれの特性を活かし、今後の活用方法を検討していく。

3 現状の取組

情報発信ツール	機能
板橋区防災メール	避難情報等の区からの緊急なお知らせを、登録者宛てにメールで配信する。区内の雨量が一定の基準を超えた場合の、自動配信機能も備えている。 登録者数：25,706人
防災行政無線	区の施設等に設置されているパンザマスト（スピーカー）により、緊急事態が発生したことを周知する。放送内容の確認ができる「電話応答サービス」の運用も行っている。 パンザマスト設置数：区内165か所
ヤフー防災速報アプリ （スマートフォン用）	アプリ内で登録地域を「板橋区」に設定したスマートフォンに対し、区内の気象警報や区からの避難情報等を、プッシュ通知する。オンライン時は、GPS機能により現在地から選択した避難所までの経路案内を行う。 板橋区を登録している人：155,800人
防災ツイッター	避難情報等の区からの緊急なお知らせを、ツイッターで発信する。フォロワーによる情報拡散が期待できる。 フォロワー：2,291人
緊急速報メール （エリアメール）	避難情報発令等の緊急時に限り、区内にある全ての携帯電話に対し、区からの緊急速報メールを送信することが可能。Jアラートと連動した一斉メール送信（気象庁による特別警報の発令・震度5弱以上の地震波の到達が予想される場合など）も、このシステムにより行われる。
ケーブルテレビ （無料放送）	ケーブルテレビ J:COM との協定に基づき、災害発生時や警戒時に防災関連の情報を、無料放送チャンネル(11ch)内のL字テロップで放映する。 J:COM無料放送の視聴可能世帯数：245,179世帯
テレビのデータ放送 （Lアラート）	テレビリモコンのdボタンを押すことで視聴が可能な文字データ放送により、区に特化した避難情報や避難所開設状況などをテレビ画面で確認できる。
情報収集ツール	機能
防災対策支援システム	G I Sを使用し、災害時に被害情報、被害への措置情報、被災者情報、避難所情報等を収集・登録し、情報分析を行う。 緊急速報メール（エリアメール）や板橋区防災メール、防災・防犯ツイッターと連携し、防災対策支援システムの入力で各媒体から情報を配信する。 防災カメラと連携しており、住所入力すると瞬時にカメラをその方向に動かすことができる。 地域BWA事業を活用し、各避難所に配備したタブレットより、本部へ開設状況の避難者数報告、物資要請等を行うことができる。
防災カメラシステム	区役所本庁舎の側にあるマンション屋上（高さ約80m）に2台、板橋清掃工場の煙突上部（高さ約120m）に2台設置しているカメラで区内の被災状況を確認する。
気象観測システム	河川水位、雨量、ライブカメラ画像を、区内各所に設置し観測している。観測した情報はインターネットで公開。 河川水位、雨量が一定の基準値を超えた時、板橋区防災メールを自動で配信し注意喚起を行う。
その他ツール	機能
板橋区防災マップアプリ	オフライン時でも、板橋区防災マップを閲覧することができる。GPS機能により、現在地から選択した避難所等の防災関連施設まで、進行方向を案内する。 ダウンロード数：19,208
被災者生活再建支援システム	G I S上で、被害情報、被災者情報、建物情報を結合させ被災者台帳のデータベースを構築し、震災や風水害による被害の調査、被災者台帳の整備、り災証明書の発行を円滑に行うためのシステム。

4 担当

危機管理部防災危機管理課危機管理係 電話 3579-2154